

4 新市・町 きょう誕生

成田市 香取市 山武市 横芝光町

平成の大合併 第1幕が終了

「平成の大合併、第一」了する。今後は四月からステージで、県内で最も始まる「第二ステージ」。小見川町、山武市、成東町、山武町、蓮沼町がきょう二十七日に懸念した地域と県内全域村、松尾町、横芝光町、それぞれの本庁舎で、を対象にした新たな終組式典を行い、同出を祝う。みによる合併組み合わせ同日で県内で誕生した合併が機案される。併市町は十一。県内は当初の八十市町村から五十成田市（旧成田市・下総六市町村）への再編成が終町・大栄町、香取市（旧

佐原市・山田町・栗原町町が約二万七千人となる（二月末現在）。新市・新町が目指す得来像はそれぞれ、一人・緑・空が調和し豊かな暮らしを実現する国際空港都市・NARI成田市、人と自然と歴史が結び合う北総の元氣創造都市（香取

市で、「さらに自然と笑顔が溢れなすふれあい交響都市（山武市）、粟山川の流れがはぐくむ人・自然・文化が共生するまち（横芝光町）」を掲げ、編入合併の成田市を除き、香取、山武の両市と横芝光町では首長選挙が行われる。四月二十三日に実施される山武市長選には前松尾町長の古谷淳氏（公）と元成東町長の椎名千取氏（公）がそれぞれ立候補し、横芝光町長選には前光町長の香澤謙氏（公）と元横芝町長の佐藤晴彦氏（公）がそれぞれ立候補の意向。

同三十日の香取市長選には、元佐原市長の岩瀬良三氏（公）と元同市議の宇井成一氏（公）が立候補を表明している。県内の市町村合併は四月から合併新法に基づく第二ステージが始まる。県では分権型社会に対応した「自立した総合自治体への進化」を目指し、県全域を対象に新たな枠組みによる合併組み合わせを機案。五月ごろに新市・新町に対する意向調査を実施する予定。きょう誕生した四市町では、周辺に小規模な町が残っているほか、成田

空港を核にした、さらにが焦点になっていくもの。広域な合併への動きなど」とみられる。

